学　年	教科等	題材名	日　　時
第６学年	音楽科 ※図画工作科 との合同授業	音のする絵からする音	令和５年１月１８日(水)５・６校時

○　子どもの姿からの報告

【第６時】音楽科の研究中心

飛叶芸術展に出すために、先生たちも作品（絵と音楽）を作ってみたよ。どうかな？

題名と絵と音楽が合っていない気がします。
音楽をもっと明るい音色にしたらよくなりそうです。

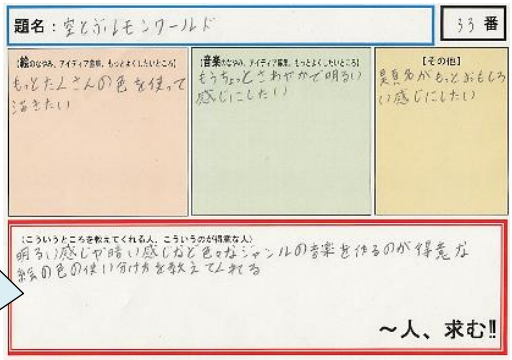
絵も、暗い色を足して、音楽に近付ける方法もあるな。

見つめ直したら、更によくなりそうだね。

研究内容　悩みやよりよくしたいところをＳＯＳカードに記入する。

悩みやもっとよくしたいところをＳＯＳカードに記入して、それを解決してくれそうな人（役割）を書こう。

「音がもっとさわやかで明るい感じにしたい。」
「明るい感じや暗い感じ等、様々なジャンルの音楽を作るのが得意な人、求む！」



研究内容　ＳＯＳカードを基に、かかわれそうな仲間の作品を見付け、アドバイスをする。

リズムを変えた方が明るく聴こえるな。

明るくしたいって書いてあったけど、ここの打楽器のリズムを変えて、もっと細かい音を入れたら？

ちょっと、やってみてもよい？
賑やかな感じになったね。どっちがよいかな？

研究内容　第６時のふりかえり（作品の変容と仲間とのかかわり）をする。

この時間（第６時）の作品の変容と、その変容にかかわった仲間の意見を書こう。

子どものふりかえり

題名と（絵／音楽）の
明るさが音楽に合うように、

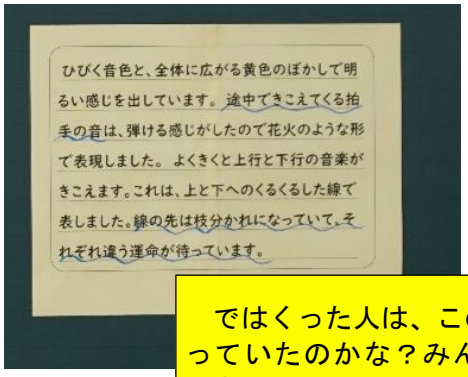
一度ごちゃごちゃしている部分を知り、その部分を綺麗にしてから新たに作った。

（見つめなおしにかかわった仲間とその意見）
（　　）さんが、ビートを綺麗に音楽に合うようにした

【第７時】図画工作科の研究中心

（参考作品を鑑賞して）どのような感じ？どこから、それが分かる？

音楽の最初のリズムが、明るい感じがします。絵だと、くるくるしたところからそう思います。



ひびく音色と、全体に広がる黄色のぼかしで明るい感じを出しています。途中できこえてくる拍手の音は、弾ける感じがしたので花火のような形で表現しました。よくきくと上行と下行の音楽がきこえます。これは、上と下へのくるくるした線で表しました。線の先は枝分かれになっていて、それぞれ違う運命が待っています。

ではくった人は、この作品をどう思っていたのかな？みんなと違うことを考えていた部分もあるね。でも、みんなの感じ方も取り入れると、もっとよい作品紹介ができそうだね。

作品を鑑賞して、感じたことやその理由を付箋に書く。

まずは、作品カードの裏の部分に、仲間が感じたことを書いてもらおう。
グループで、他の仲間の作品を見て、感じたことやそれが分かる絵・音楽の部分を書いていこう。

みんなの意見を僕が書くよ。

音色も明るいね。

遊園地みたいな作品だね。

この飛び出したところが、メリーゴーランドみたい。

付箋や、以前に書いた下書きを基に、作品紹介を書く。

以前に書いた下書きと、今回書いた作品紹介を比較し、変わったところや自信をもてたところに線を引く。

題　名

台風前日

作品の紹介

全体的に低く、強い感じの音楽なので黒を多く入れました。音の高いところはいろいろな色で表現しました。さらに、音楽の最後の間があいて1音だけなる感じは右下にまわりとはなして少しかくことで表しました。また、黒い紙をクチャッと丸めてあらあらしさを表しました。

○　考察

○　絵と音楽を関連付けて作品づくりをさせたことで、絵をかくこと、音楽をつくること、機器の操作、題名付け等、かかわることができることが増え、様々な面で仲間と話をしたり、アドバイスをしたりする姿が見られた。

○　仲間からの意見を基にふりかえるという活動を２年間取り入れたことで、仲間の意見による自分の変容を感じられる子どもが増えてきた。

●　本時、これまでの役割を基にＳＯＳカードを書く子どもは少なかった。毎時間の役割のふりかえりは、ＳＯＳカードを書く時の参考になったというよりは、自分の得意なことを自覚したり、かかわることができる役割の幅を広げたりすることにつながったようである。役割をどのように実感させ、どのように活用していくかは、今後も継続して研究していく必要がある。